

社会人対象講座 キャリアアッププログラム

Basic subject Career Up Program

広島経済大学キャリアアップ・プログラム・メールマガジン 第133号(2015.02.05発行)

このメルマガは、どなたに転送いただいても構いません。

なお、本メールが不要な方は [career-up@hue.ac.jp](mailto:career-up@hue.ac.jp) までご連絡ください。

【過去の CP 通信をご覧ください】:[http://www.hue.ac.jp/lecture/careerup/cp\\_magazine.html](http://www.hue.ac.jp/lecture/careerup/cp_magazine.html)

【目次】

- ・巻頭言 広島経済大学 経済学部 学部長  
経営学科 教授 小谷 幸生
- ・2015年(次年度)キャリアアップ・プログラム(CP)とカルチャー講座(CS)のラインナップ
- ・2015年(次年度)1学期 CP 授業計画(シラバス)のご紹介
  - 月曜日開講 『簿記の初歩から始める財務諸表分析』…エントリー科目
- ・3学期キャリアアップ・プログラム(CP)授業風景
- ・読者の皆様からのエッセーの投稿をお待ちしております
- ・キャリアアップ・プログラムやカルチャー講座に関する、ご質問やお問い合わせ

■巻頭言

広島経済大学 経済学部 学部長  
経営学科 教授  
小谷 幸生  
3学期 CP 講師『財務分析の基礎』

トマ・ピケティ『21世紀の資本』から日米の違いを考える

格差の広がりテーマとする世界的なベストセラー『21世紀の資本』が、本文だけで600ページを超える大作であるにも拘わらず我が国でも大きな反響を呼んでいます。先週、著者のパリ経済学校トマ・ピケティ教授の来日にあわせ、『週刊東洋経済』が大々的に特集を組んだので読まれた方もおいでかと思えます。私の専門とは異なるものの、資本主義に内在する問題を膨大なデータをもとに解き明かそうとするたいへん興味深い内容であり、少しずつ読み進めているところです。

本書の内容は数多くの書評や放送番組等で取り上げられていますが、それらが注目していることの一つに、所得格差の拡大が80年代後半以降、米国や英国等のアングロサクソンの国々で特に著しいことがあります。実際に本書のデータ元である「World Top Incomes Database」から詳しい数値を拾ってみると(注1)、米国の場合、「上位1%の所得者層

が所得全体に占める割合」は、第1次石油ショック時の1973年をボトム(7.7%)に上昇に転じ、80年代後半以降そのピッチを速め、2012年には20%近く(19.3%)に達しています。それだけ所得上位層への富の集中が急速に進んでいるということです。他方、ピケティ教授の母国フランスでは、8.1%(2009年)にとどまっています。

米国での所得格差の大きさは、私自身も今から20年以上前、前職の銀行員時代のニューヨーク勤務時(80年代後半～90年代前半)に実感していました。赴任した最初の2年余りは、ウォール街にあるオフィスで証券決済業務を行う部署を任されました。証券取引の帳簿付けや証券の受け渡しなどの比較的単純な作業が主な仕事だったこともあり、15名ほどの米人の同僚は、大学進学率が高い米国にあって大半が高校卒で、移民が多くを占めていました。平社員の年収は正規雇用でも15千ドル(最近の為替レートで180万円前後)を少し上回るレベルで、20千ドルを超えれば恵まれた方でした。地方に比べて物価水準の高いマンハッタン周辺での生活は相当厳しいものであったはずですが。ある時100ドル程度の生活資金が不足しチェック(小切手)が落ちないと相談され、困惑したことを覚えています。この頃、投資銀行の内幕を描いたマイケル・ダグラス主演の「ウォール街」という映画がヒットしていましたが、そこに描かれたエリートバンカーが巨額なカネを動かす華々しい世界と、それを底辺で支える低学歴・低賃金で働く人々の生活とのギャップの大きさを身近なものとして感じ取りました。90年代以降、情報通信技術の革新に伴う自動化とペーパーレス化の進展によって手作業主体の仕事が失われ、私の古い同僚達はさらに厳しい状況に置かれたことと思われまます。2011年秋、米国では「ウォール街を占拠せよ」との掛け声のもと格差拡大に反発する人々による大規模なデモが発生しましたが、かかる騒擾が起こる背景は十分に理解できるところです。

翻って我が国の場合、戦後の農地解放、財閥解体等の経済民主化のおかげで、「上位1%の所得者層が所得全体に占める割合」は低水準で推移し、90年以降は上昇傾向にあるものの2010年時点で9.5%にとどまっています。上位層の平均所得額も、米国の903千ドル(2010年の為替レートで79百万円)に対し21百万円と4分の1程度であり(注2)、我が国の場合、米国ほど格差は広がっていません。さらに興味深い点は、高額所得層の所得内訳をみると、米国では起業家・個人事業主の所得や投資家の配当収入が3分の1強を占めているのに対し、日本の場合にはそのウエイトが1割程度にとどまっていることです(注3)。この要因の一つには、日本企業の収益性が低く、企業オーナーを含む投資家が十分なリターンを得ていないことが考えられます。事実、昨年8月に経済産業省から発表された報告書によると、株主にとっての収益性を示すROE(自己資本利益率)は、大手上場企業の場合、2012年では、米国の22.6%に対して日本では5.3%にしかすぎません(注4)。企業の儲ける力が弱いことが、日本で米国ほど格差が進んでいないことに一役買っていると言えそうです。果たしてこれを良しとすべきか。「乏しきを憂えず、等しからざるを憂う」という言葉がありますが、“乏しき”(⇒低ROE)を憂えるべきか、“等しからざる”(⇒格差拡大)を憂えるべきか、見方の分かれるところではないでしょうか。

(注1) Alvaredo, Facundo, Anthony B. Atkinson, Thomas Piketty and Emmanuel Saez, The World Top Incomes Database, <http://topincomes.g-mond.parisschoolofeconomics.eu/>, dd/mm/yyyy.

(注2) 同上、Top 1% Average Income(2010)

(注3) 同上、Top 1% Income Composition(2010)

(注4) 経済産業省(2014)「持続的成長への競争力とインセンティブ～企業と投資家の望ましい関係構築～」プロジェクト『最終報告書』37頁

---

■2015年(次年度) キャリアアップ・プログラム(CP)とカルチャー講座(CS)のラインナップが決まりました。

キャリアアップ・プログラム:29 科目のうち(エントリー9 科目、ベーシック 14 科目、ステップアップ 6 科目)

2015年度キャリアアップ・プログラム					
学期	曜日	講座名	科目	講師	学科名
1 学期	月曜日	簿記の初歩から始める財務諸表分析	エントリー科目	矢澤 利弘	経営学科 教授
	火曜日	コーポレートファイナンス入門	エントリー科目	重本 洋一	経済学科 教授
		確率・統計入門	エントリー科目	前川 功一	経済学科 教授
	水曜日	生産管理論の基礎	ベーシック科目	岡田 斎	経営学科 教授
		ビジネス文章表現	ベーシック科目	木本 一成	教養教育部 准教授
	木曜日	国際経済学入門	エントリー科目	野北 晴子	経済学科 教授
		まるごとわかる! 法人税	エントリー科目	一橋 信之	経済学科 教授
金曜日	国際金融の基礎	ベーシック科目	福居 信幸	経済学科 教授	
	原価計算論の基礎	ベーシック科目	天王寺谷 達将	経営学科 助教	
2 学期	月曜日	財務会計の基礎	ベーシック科目	永田 靖	スポーツ経営学科 教授
		マーケティングの基礎	ベーシック科目	細井 謙一	経営学科 教授
	火曜日	中小企業経営論の基礎	ベーシック科目	瀬戸 正則	経営学科 教授
		企業金融の基礎	ベーシック科目	幸田 圭一朗	経営学科 助教
	水曜日	確率・統計の基礎	ベーシック科目	前川 功一	経済学科 教授
		歴史から読み解く日本の企業経営	ベーシック科目	藤田 順也	経営学科 准教授
	木曜日	データマイニング入門	エントリー科目	石野 亜耶	ビジネス情報学科 助教
		ビジネス・プラン作成演習	ステップアップ科目	山本 公平	スポーツ経営学科 教授
	金曜日	実務に役立つ経理入門	エントリー科目	餅川 正雄	教養教育部 教授
		経営戦略論の基礎	ベーシック科目	堀江 浩司	経営学科 准教授
3 学期	月曜日	キャッシュフロー・マネジメントの基礎	ベーシック科目	小谷 幸生	経営学科 教授
		マーケティング演習	ステップアップ科目	細井 謙一	経営学科 教授
	火曜日	日常生活を考える経済学入門	エントリー科目	新垣 繁秀	経済学科 准教授
		証券投資理論の基礎	ベーシック科目	得津 康義	経済学科 教授
	水曜日	所得税法入門	エントリー科目	餅川 正雄	教養教育部 教授
		広告戦略論の基礎	ベーシック科目	北野 尚人	メディアビジネス学科 教授
	木曜日	ケースメソッドで鍛える経営構想力	ステップアップ科目	山内 昌斗	経営学科 准教授
		実戦ビジネス中国語会話	ステップアップ科目	広田 堅志	経営学科 准教授
	金曜日	イスラム経済とイスラム金融	ステップアップ科目	糠谷英輝	経営学科 教授
		日本の財政破綻と金融政策	ステップアップ科目	増原 義剛	経済学科 教授

カルチャー講座:3 科目(各学期:1 講座)

2015年度 カルチャー講座			
学期	講座名	学科名	講師
1学期	戦国武将の実像と虚像	教養教育部 教授	長谷川 泰志
2学期	コンピュータで見た宇宙と物理の世界	教養教育部 教授	高石 哲弥
3学期	災害大国日本を生きる	メディアビジネス学科 教授	松井 一洋

【講義会場】 広島経済大学 立町キャンパス(広島市中区立町 2-25 IG 石田学園ビル)



【講義期間】

キャリアアップ・プログラム

- 1 学期:5 月 20 日~6 月 30 日の開催曜日
- 2 学期:10 月 13 日~11 月 30 日の開催曜日
- 3 学期:平成 28 年 1 月 14 日~2 月 26 日の開催曜日

## カルチャー講座

- 各学期の毎週水曜日

### 【講義時間】

- キャリアアップ・プログラム:19時～20時30分まで
- カルチャー講座:19時～20時30分まで

### 【定員】

- キャリアアップ・プログラム:30名(最少開講人数5名)
- カルチャー講座:20名(最少開講人数5名)

### 【受講料】

- キャリアアップ・プログラム:1科目12,000円(6回講義)  
受講科目が1科目増える毎に割引(9科目まで割引、下記の表参照)

受講数	お支払い総額	1科目あたり
1科目	12,000円	12,000円
2科目	23,000円	11,500円
3科目	33,000円	11,000円
4科目	42,000円	10,500円
5科目	50,000円	10,000円
6科目	57,000円	9,500円
7科目	63,000円	9,000円
8科目	68,000円	8,500円
9科目	72,000円	8,000円

※9科目以上は1科目あたり8,000円

法人・団体でとりまとめてお申し込みも割引対象となります。

- カルチャー講座:1講座(1科目)5000円(6回講義)

【申込締切日】1学期:4月23日まで 2学期9月17日まで 3学期12月17日まで

【お申込み】3月1日から本学のHPからお申込みいただけます。

【お問合せ】広島経済大学 教育・学習支援センター TEL:082-871-9345

---

■2015年(次年度)1学期 キャリアアップ・プログラム(CP)授業計画(シラバス)をご紹介します。

- 月曜日開講 『簿記の初歩から始める財務諸表分析』…エントリー科目  
毎週月曜日(5/25,6/1,6/8,6/15,6/22,6/29…計6回)

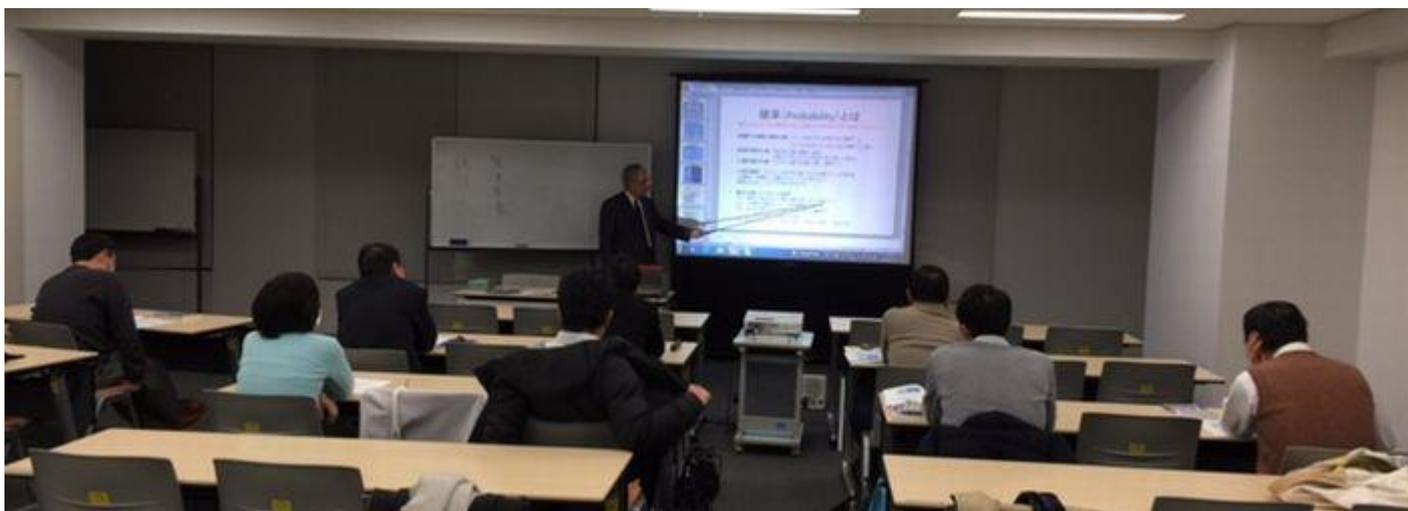
2015年キャリアアップ・プログラム シラバス	
科目名	簿記の初歩から始める財務諸表分析
担当者	矢澤 利弘(やざわ としひろ)
副題	ゼロから始めて財務諸表を読めるようになりたいあなたのために
対象者	この講義は、エントリークラスですので、受講生の方々に会計の知識がまったくないことを前提として講義を進めます。会計を生まれてから一度も勉強したことがないといった方々の受講を歓迎します。
到達目標	この講義の到達目標としては、 1) 財務諸表に対する苦手意識をなくし、 2) 財務諸表を読むことによって、当該会社の置かれている状況をイメージすることができるようになることです。さらには、 3) 会社の経営の問題点を探り、どのようにすれば経営がよくなるのかについて考えるための力を身につけることが最終的な目標になります。
概要	この講義は、まったくの初心者を対象に、財務諸表の読み方と仕組みが理解できるまでを扱います。前半では、財務諸表とはいったい何なのだろう、どういう役割があるのだろうということについて、簿記の基本から解説します。後半では、貸借対照表、損益計算書の読み方の基本と簡単な財務分析の方法を扱っていきます。
授業内容	第1回 財務諸表の意義と考え方を知ろう
	第2回 財務諸表はどのようにして作られるのかを知ろう
	第3回 財務諸表の仕組みと財務分析の方法を理解しよう
	第4回 財務諸表分析の基本を押さえよう
	第5回 さらに財務諸表分析の基本を押さえよう
	第6回 実践的なケーススタディーをやってみよう
授業の形式	座学とディスカッション(演習)併用
授業の進め方	講義を中心に進めていきますが、知識を定着させるため、講義時間内に実際に電卓を使って具体的な計算を行う演習や、受講生同士のペアワークによる演習の時間も設けています。
教材費などの追加負担	教材費の負担はありません。 <b>使い慣れた電卓が必要です。</b>
受講者へのメッセージ	会計がわかると社会の見方が変わります。混迷した現代の経済社会を生き抜くための必要最小限の会計知識をなにがなんでも全6回の講義で身につけましょう。会計の初歩の初歩から始めますので、講義は身近な例を題材とし、難しそうな会計上の概念や言葉は使いません。
講師紹介(自己紹介)	矢澤 利弘(経済学部 経営学科 教授) 博士(学術)、公認会計士 1965年東京生まれ。早稲田大学商学部卒業、同大学院アジア太平洋研究科博士後期課程修了。日本経済新聞社を経て、監査法人伊東会計事務所(現・あらた監査法人)に所属し、会計監査およびコンサルティング業務に従事する。その後米国系通信社ブルームバーグ・ニュースにおいて経済記者として活躍。情報開示や映像ビジネスの諸問題等について企業にアドバイスを提供している。日本証券アナリスト協会検定会員。主な著作に「相違点でみる 会計と税務 実務ポイントQ&A」(共著、清文社、2010年)、「起業家・ベンチャー企業支援の実務」(共著、ぎょうせい、2011年)、「グループ経営と会計・税務」(共著、清文社、2012年)、「会計実務に携わる人のための会社法と会社実務」(共著、税務経理協会、2013年)などがある。映画に関する著作や寄稿も多い。

■3 学期キャリアアップ・プログラム(CP)講義の授業風景をご紹介します。

【所得税法入門】 1月21日水曜日



【確率・統計の基礎】 1月21日水曜日



【財務分析の基礎】 1月22日木曜日



【実践ビジネス中国語会話】 1月22日木曜日



---

■読者の皆様からのエッセーの投稿をお待ちしております

皆様からのエッセーを募集しています。日常の出来事、つぶやき何でも構いません。また匿名やペンネームで結構です。ぜひご投稿をお願いいたします。(個人情報の取り扱いは十分配慮いたします)

【エッセーご寄稿頂ける方は】

どなたでも結構です。寄稿頂ける方は [career-up@hue.ac.jp](mailto:career-up@hue.ac.jp) または 082-871-9345 までご連絡ください。掲載の日程をご連絡いたします。

---

■キャリアアップ・プログラムに関する、ご質問やお問い合わせは下記の連絡先へご連絡ください。

〒731-0192

広島市安佐南区祇園五丁目 37-1

広島経済大学

教育・学習支援センター 教育支援課

お問い合わせは電話番号(082)871-9345 または E-mail [career-up@hue.ac.jp](mailto:career-up@hue.ac.jp) までどうぞ。

**HUE** 広島経済大学  
**CAREER UP PROGRAM**